

大分県代表選手選考規程

大分県ソフトテニス連盟

この規程は大分県の代表として競技会に参加する場合の選手選考等について定めたものである。

1. 国民体育大会

(1) 選考競技会

<成年男女>

一次選考会、二次選考会、最終選考会を経て選考する。

参加資格は、当該年度の国民体育大会参加基準に準ずる。

※ただし、日本スポーツ協会が定めるトップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置に該当する選手は、選考会免除で推薦選手として推薦できる。

<少年男女>

選考練習会で選考する。参加資格は、以下の条件とする。

①高校生は、次の大会成績当該選手とする。

1. 当該年度ハイスクールジャパンカップ大分県予選ダブルス ベスト 8
2. " シングルス ベスト 4
3. 当該年度大分県高校総体個人戦 ベスト 8

②中学校 3 年生は、大分県中学シングルス選手権大会、3 年生部門でベスト 4 に入賞した選手

(2) 選考基準

種別毎に代表選手 5 名と補欠選手（1～2 名）とする。

(3) 選考方法

<成年男女>

①一次選考会

2 回実施して、それぞれ上位 4 ペアを選出し、計 8 ペアを二次選考会出場とする。

②二次選考会

参加資格要件

1. 一次選考会を通過した 8 ペア

2. 県連推薦ペア

※ 県連推薦ペア：以下（ア～ウ）の条件を基に強化委員会で選出・推薦し、常務理事会で承認されたペア

ア 前年度国体（九州ブロックを含む）出場者

イ 学連・社会人（全日本、東西、各ブロック）及び高校生（インターハイ、ジャパンカップ、JOC 等）で顕著な実績のある選手

※ 顕著な実績とは、全日本大会ベスト 16、東西大会ベスト 8、各ブロック大会ベスト 4 以上が該当する。

ウ ア、イに該当する選手 1 名 + 前年度最終予選に残った選手のペア

選考方法

一次選考会通過の8ペアと県連推薦ペアで二次選考会を実施し、上位6ペアを最終選考会出場とする。

③最終選考会

参加資格要件

1. 二次選考会を通過した6ペア
2. 当該年度の大分県シングルス選手権大会でベスト4に入った成年男女選手。

選考方法

1. シングルスで1日、ダブルスで1日の計2日間で実施する。
2. ダブルスについては二次選考会通過の6ペアでリーグ戦を行ない、1位ペア(2名)は代表選手として推薦する。
3. 残り3名と補欠選手については、強化練習(遠征)等を経て、国体強化スタッフ(監督・コーチ)で選出し、強化選手(補足①参照)の中から代表選手として推薦する。
4. 2、3で選出された選手を強化委員会で審議した後、常務理事会で承認を受け、決定する。

<少年男女>

選考方法

- ① 候補選手を招集して選考練習会(少年男女国体候補選手選考練習会)を2日間連続で、実施する。
- ② 練習内容は、国体強化スタッフ(監督、コーチ、中・高校部強化担当)で選定し、基本練習・ゲーム練習等を行う。
※ゲーム練習では、ペア変更を行い実施する事もある。
- ③ 選考基準は技能だけでなく、マナー・意欲・チーム大分への意識度等で総合的に国体強化スタッフにて選考する。
- ④ 選考練習会を経て、国体強化スタッフにて強化選手を選考し、その中から推薦選手を強化委員会で審議した後、常務理事会で承認を受け決定とする。

(4) 補足

- ① 成年男女の強化選手とは、二次選考会に残った選手及び県シングルス選手権ベスト4に入った選手とする。
強化選手期間は、一次選考会(2回目)終了時点より、該当年度の10月31日までとする。
- ② 少年男女の強化選手とは、選考練習会にて選考された選手(7~8名)とする。
強化選手期間は、練習選考会から当該年度の10月31日までとする。
- ③ 国体強化スタッフは成年男女、少年男女の選考対象の選手名簿を作成し強化委員会に提出する。
- ④ 選考会参加者に事前に選考方法を説明して、選考会を開始する。
また参加者に選考結果の開示を求められた場合は、選考結果を開示する事。

⑤ 選考方法を変更する場合は、必ず強化委員会で審議し、常務理事会で承認を受けること。

なお、承認を得ずに選考方法を変更して選手選考した場合は、選手選考を認めない。

⑥ この要項に定めのない事項および該当しない例外が発生した場合は、強化委員会で協議し、常務理事会で承認を受け、処理すること。

(5)国体強化スタッフの選考

監督選任方法

〈成年男女〉

強化委員と前監督にてコーチ1以上の資格を有する者を推薦し、常務理事会の審議を経て理事会で決定する。

〈少年男女〉

高校部と強化委員にて推薦（コーチ1以上の資格を有するが条件）し、常務理事会の審議を経て理事会で決定する。

スタッフ選任方法

〈成年男女・少年男女〉

① 各種別監督から次期監督候補として監督育成も含め各種別5名以内を推薦し、常務理事会の審議を経て理事会で決定する。

② スタッフに選任された際は、コーチ1以上の資格取得に努めなければならない。

(6)国体強化スタッフの任期

〈成年男子〉

① 任期は4年とする。ただし、任期を延長する場合は、強化委員会の協議により常務理事会に上申し審議し、理事会にて決定する。

〈少年男女〉

① 任期は4年とする。ただし、任期を延長する場合は、高校部と強化委員会の協議により常務理事会に上申し審議し、理事会にて決定する。